

ふれあい通信

232号

発行日
2025.7.1

よりそう医療と介護 もてなしの心で地域に貢献



院長先生の よもやま話

博至会理事長 兼 矢野医院院長 矢野 博一

矢野医院40周年と私

当院は昭和60年5月21日に開院しました。昭和100年に相当する今年40周年を迎えることが出来ました。開院当時の私はまだ中学生で、医院の2階に自宅スペースがありそこから中学校や高校に通っていました。ちいさなスペースでしたが家族5人で暮らしていました。父は通勤時間0分で快適だったのではないのでしょうか(笑)

大学は金沢医科大学に進学しました。入学当初から診療科を決めていたわけではありませんが、大学4年生の時に消化器内科に興味深いと思い将来は消化器を専門に臨床をしようと決めました。消化器というと胃と腸だけを思い浮かべる人がいますが、肝臓や膵臓なども消化器です。医局によっては食道、胃、肝臓、膵臓、大腸の担当グループに細分化されている

ところもありますが、幸い私の入局した医局は全員が「すべての消化器疾患を治療できる」が方針だったので一通りの疾患は経験しました。外科の先生とも仲良くさせて頂き、急変して緊急手術の適応などの相談も大変しやすい環境でした。

また、県内外の総合病院、診療所、僻地診療、休日急患センター、精神科病院などに医局人事で常勤や非常勤で勤務させて頂きました。大学病院も疾患は多岐に渡りますが、出向先で大学病院の勤務だけでは経験できない疾患を経験しました。多くの医師、看護師、患者と出会い、多くの疾患を経験しその全てが大切な財産となっています。

現在は院長として勤務しておりますが、今までの経験を活かし、より良い医療を日々提供して参ります。

また、娘は医学部に進学しています。何科になるのかあるいは臨床医になるのか研究者になるのかさえ決めてはいませんが、日々勉学に励んでおります。

おかげさまで開設40周年を迎えることができました。

地域の皆様ありがとうございます。

これからも温かい医療・介護を目指してまいります。

こけし

大阪万博

子育てに奮闘し、日々慌ただしく過ごしている私ですが、利用者様との会話の中で、子供の成長を楽しむことができる、どれほど愛おしい時間であるかを、度々教えて頂いています。

今年は大阪万博が開催されています。靴の着脱をお手伝いしていると、ふいに頭上から「万博、行ってこないの?」という声が聞こえてきました。見上げて「混んでいるって聞きますしね」と曖昧な返事をする、「きつと良い思い出になるよ」と、55年前の万博の思い出話に花が咲きました。

そういえば、実家を訪れた際、母も「行ってみたいな」と呟っていたことを思い出しました。今年の夏は、家族で万博に行ってみようかなーそんな思いを巡らせながら、今この瞬間を大切に楽しみたいと思いました。

診察室から



40周年記念を終えて

前理事長 矢野 博明

人間愛

5月21日は当院が開設した記念の日です。あれから40年が過ぎ、今新しい院長のもとで活動しています。平成10年に医療法人となりました。令和4年には認定医療法人となり、より社会的責任を背負って日々地域医療に邁進しております。法人における社会的責務とは射水市医師会の一員として、公的病院を含む病・診療連携および診・診療連携を強力にすすめ、地域の医療・介護・保健を最優先に対応し、地域住民の安心を提供していくことであります。そして法人に勤めている職員に対して、生活を保障し、医療・介護のスキルアップを行っていくことだと考えています。これからは職員のキャリアパス対応の研修もすすめていかねばなりません。院長をはじめ職員が一体となって法人の事業を高め、市民から必要とされる、頼りにされる、なくてはならない医療機関として発信していかなければなりません。ここに開院40周年を記念に、前院長として院長

を支援しながら、職員等と共に頑張っていきます。

昭和60年旧新湊に開業し、矢野神経内科医院は脳卒中を中心とした中枢神経疾患の治療とリハビリを基本に、19床の有床診療所として活動しました。リハビリ施設基準を取り、通所リハビリ、訪問リハビリ、訪問診療、訪問看護を展開し、介護保険の施行に合わせ、総合ケアセンター海王を設立し、医療と介護を包括した診療所として、40年間活動してきました。令和3年息子博一に院長職を譲り、矢野医院に改め、自らの専門分野の他に一般内科領域の治療等を実施しています。50代当時の私は日々無我夢中でしたが、今の院長は坦々と患者様の診療にあたっている姿を観て、安心して任せて良いと思っている今日今頃です。40年間の診療から継続・発展させていくものあり、改める所は厳しく批判して改善して欲しいと思っています。幸い私は元気であり、可能な限り外来医療と在宅診療を続けて、院長の目指す診療所を支援していきたいと心から思っています。

矢野医院開設40周年に寄せて

総務部 部長 松岡 剛志

矢野医院開設40周年、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げますとともに、日頃の学びと経験の機会をいただいていることに感謝いたします。

私は、30年前に製造業から転職し、医療や福祉については右も左も分からない状態でしたが、矢野医院の一員として温かく迎えていただき、今日まで他の専門職の皆さまと共に地域の医療・福祉、さらには生活全般にわたる活動に、携わることができたのではないかと感じております。それはひとえに、矢野医院に所属していたからこそ得られた貴重な経験であります。

このたび矢野医院開設40周年に際し、矢野医院のあゆみを振り返る中で、医療や福祉の制度を先取りする様な先進的な取り組みが多くあったことに改めて気づかされました。私が入職した平成6年は、翌年開設予定の老人デイケアの準備が進んでおり、矢野医院のデイケア見学会をメインとした「在宅診療を支える全国診療所ネットワーク」のプレ大会が地元新湊で開催され、多くの関係者が全国から訪れてこられたことも印

象深く、矢野医院の存在の大きさを実感する出来事でした。また、在宅介護教室や介護家族の会、リハビリ友の会など、他ではなかなか見られない多様な活動の中で、在宅介護に限らず、関わるすべての人への思いやりや気配りを学ぶことができたと思っています。

開設当初のデイケアでは寝たきりであったり、意思表示が難しい方々も多く、そうした方々を外へ連れ出し、入浴やリハビリ、レクリエーション活動を通じて心地よさを提供し、ご家族の負担軽減に微力ながらも貢献できたことは貴重な経験でした。

介護保険制度開始以降、医療・介護をめぐる環境は大きく変化していますが、今後の超高齢社会に向け、さらなる変化も求められていくでしょう。これまでの医院のあゆみを継承しつつ、変化を恐れず創意と工夫で対応し、これからの時代を担う後輩たちと共に、矢野医院の一員としての誇りと謙虚さを忘れず、感謝の気持ちを持って関わっていきたいと思います。

おかげさまで40周年を迎えました

矢野神経内科医院は脳卒中のリハビリテーションとかかりつけ医として、地域住民の健康と医療を理念とし1985年(昭和60年)5月新湊市内に19床の有床診療所を開院しました。

前理事長 矢野 博明

脳卒中の急性期からリハビリ
そして在宅医療まで熱い思いで開業

1985 医院開院



現理事長 矢野 博一

大学病院の多彩な経験を生かし
病気の早期発見・予防医療で地域に貢献

2021 院長交代



— 医院40年のあゆみ —

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1985年(昭和60年) | 2006年(平成18年) |
| 5月 「矢野神経内科医院」開院(5/21) | 8月 病棟を廃止し無床診療所とする |
| 12月 理学療法施設基準承認 | 2009年(平成21年) |
| 1986年(昭和61年) | 4月 「デイサービス癒さぁ」開所 |
| 4月 「ふれあい通信(第1号)」発行 | 矢野神経内科デイケア リハビリ特化短時間サービス提供開始 |
| 「矢野神経内科リハビリ友の会」結成 | 2011年(平成23年) |
| 1987年(昭和62年) | 4月 矢野博一 副院長就任 |
| 2月 訪問看護開始 | 2012年(平成24年) |
| 12月 「第1回矢野神経内科医院作品展」開催 | 11月 前院長 市制功労者 射水市長表彰 |
| 1992年(平成4年) | 学校保健推進と向上 文部科学大臣表彰 |
| 6月 「第1回在宅介護教室」開催 | 2015年(平成27年) |
| 10月 「在宅介護家族の会」発会 | 5月 創立30周年 |
| 1994年(平成6年) | 2018年(平成30年) |
| 9月 「在宅介護家族の会」1泊研修旅行開催 | 6月 矢野居宅介護支援事業所開所 |
| 1995年(平成7年) | 2019年(令和元年) |
| 4月 在宅ケアセンター「ふれあい」開設(老人デイケア開始) | 6月 「海王居宅介護支援事業所」を社会福祉法人海友会へ移譲 |
| 6月 創立10周年 | 2020年(令和2年) |
| 1998年(平成10年) | 3月 無料Wi-Fiサービス開始 |
| 1月 医療法人届出「医療法人社団 矢野神経内科医院」設立 | 10月 「総合ケアセンター海王」を社会福祉法人海友会へ移譲 |
| 5月 「訪問看護ステーションふれあい」開設 | 2021年(令和3年) |
| 1999年(平成11年) | 5月 矢野博一が院長に就任(5/21) |
| 9月 「ヘルパーステーション」開設 | 7月 医院名を「矢野神経内科医院」から「矢野医院」に変更(7/1) |
| 10月 「いみず訪問看護ステーション」を小杉町戸破に開設 | 8月 地域リハビリ生活支援部誕生 |
| 2000年(平成12年) | 2022年(令和4年) |
| 4月 「総合ケアセンター海王」開設 | 4月 矢野博一が理事長に就任(4/1) |
| 「海王居宅介護支援事業所」「海王デイサービス」「海王ショートステイ」 | 法人名を「博至会」に変更(4/1) |
| 訪問看護ステーション「ふれあい」「ヘルパーステーション海王」開所 | 10月 多機能デイサービス開始 |
| 「矢野神経内科居宅介護支援事業所」開所 | 2023年(令和5年) |
| 「いみず訪問看護ステーション居宅介護支援事業所」開所 | 4月 1階ラウンジを地域に開放 |
| 9月 胃内視鏡検査開始 | 2024年(令和6年) |
| 2001年(平成13年) | 4月 短期集中運動教室開始(射水市介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービスC) |
| 4月 社会福祉法人「海友会」設立 | |
| 2002年(平成14年) | |
| 4月 言語聴覚療法施設基準承認 | |
| 「ケアハウス海王」開設(社会福祉法人海友会:海王町) | |
| 2003年(平成15年) | |
| 6月 パワーリハビリテーション導入 | |
| 2005年(平成17年) | |
| 5月 創立20周年 | |



記念の会

40周年記念式典を 開催しました

当法人は多くの方々のご支援ご協力
ご愛顧により、今年5月で開設40周年
を迎え、去る5月17日に40周年式典を
開催しました。式典には42名が出席
し、これまでの40年の歩みを見つめ直
し、当法人の取り組みの一つである
「もてなしの心で地域に貢献」を振り
返る場となりました。出席者全員が新
たな思いと、「未来を切り開く力」を
得る式典となりました。

矢野医院

**地域の皆様
ありがとうございます。**



今後を担う職員の言葉

医療事務

開院40周年という節目に立ち
会えたことを嬉しく思います。まだ
まだ未熟ではありますが、これか
ら笑顔の挨拶と感謝の言葉を
大切に、皆さんに安心していただ
けるよう親しみやすいサポートを
心がけてまいります。

外来看護師

少子高齢化を受けて今後は、
ケアを受ける層が厚くなります。
自分の身体の不調を言葉にする
ことは難しいものです。かかりつ
け医だからできるその方の個別
性を重視し、手と目を使って『人
をみる看護』を目指します。

介護支援専門員

多様化する社会や価値観の中
で今後一層デジタル化や高齢化
が進むと予測されます。地域で孤
立せず安心して生活するため
には、医療や介護を含め人との繋
がりが必要です。医院の一員とし
て懸け橋になれば幸いです。

**開院当初の先達の思い、地域の方々の思いを忘れることなく、
地域の医療・介護に貢献できるよう努力していきます。**

デイサービス看護師

高齢者の多様なニーズに応え
る個別ケアが大事です。看護の
視点で利用者様のADL維持・向
上や認知症ケア、リハビリに注力
し家族との連携を深め、情報通信
技術の活用で健康管理を効率化
し安心感を提供すること。地域と
繋がり、孤立防止を目指します。

介護職員

40周年を迎え、長く地域に愛
されてきた矢野医院で学べること
の喜びを日々感じています。
これからも利用者様との笑顔
で過ごす時間を大切にし、寄り添
える存在になれるように全力で取
り組んでいきたいと思っています。

介護職員

矢野医院は自分の年齢を上回
る程の長い歴史があります。その
歴史の先に私たちが立っている事
を誇りに思い、これから歴史に刻ま
れる一員として地域の方々に安心
できるサービスを提供できるよう
日々学び、精進してまいります。

引き続き、変わらぬご愛顧を、よろしくお願いいたします。

外来

診療部 部長 並川 淳子

開設40周年おめでとうございます

昭和60年5月21日新湊市本町に矢野神経内科医院が開設されました。

19床の病床が脳梗塞や脳出血後の後遺症で麻痺が残りリハビリを目的とする患者さんで瞬く間に満床となり、食事は当時の診療所では珍しいデイルームで皆が集まりたのしい時間でした。リハビリに特化した内科の診療所として地域に根ざし早いもので40年がたちました。平成14年4月には御子息である博一先生が大学病院より来られ神経内科と消化器内科の2本立てとなり、平成23年4月には副院長に、令和3年院長、令和4年理事長に就任され、現在は矢野医院として皆様に愛されている診療所が継承されております。

創立者である博明先生は認知症の専門医として、そして院長先生はだれからも信頼される消化器内科専門医として御活躍しておられます。

今後50周年、60周年と矢野医院の歴史が続きますよう祈念いたします。

带状疱疹ワクチン

令和7年4月より高齢者带状疱疹予防接種が始まっております。

令和7年中に65・70・75・80・85・90・95歳になる方、又100歳以上の方が対象となります。

ワクチンも2種類あり、接種回数や料金・効果持続期間も異なります。

当院では2種類用意していますが、予約になりますので診療時お気軽に御相談して下さい。



地域リハビリ生活支援部

地域リハビリ生活支援部 統括部長 寺家 千春

医院 40周年を迎えて

私は、平成11年に矢野神経内科医院に入職しました。学生時代に地域リハビリについて学んだことと、新たに介護保険制度が始まる事がきっかけでした。

医院では当初より先輩方による「リハビリ友の会」や「作品展」「着物を着よう会」「俳句教室」とリハビリ室での機能訓練だけでなく個性を活かし、仲間同士の交流を深め、そして外出の機会を増やすよう多彩なりハビリが既に行われていました。また、「在宅介護家族の会」では新年会や温泉旅行など患者様とご家族の方々と共に語り楽しく過ごす事で、私自身が地域に馴染め地域の方々と心の距離が近くなっていく感じがしました。

介護保険制度開始後は、ケアマネジャーを兼務し医療のリハビリ・通所リハビリ・訪問リハビリと関わってきました。当法人内には医療をはじめ通所系・訪問系・ケアマネ・短期入所と複数の事業所があり各職種もそろい身近に連携がしやすい環境が整っていて、毎日情報交換をしながらあっという間に10年20年と月日が経った気がします。年月と共にリハビリの形も変化し、医療のリハビリから現在は訪問リハビリや通所介護内での機能訓練、短期集中型予防事業へと変わりました。

今回、医院40周年記念式典ではコロナ禍以降初めて法人全体の職員や関係者の方々が集まる機会となりました。共に40年のあゆみを振り返りながら、多くの方々のおかげで自分が今こうしてここにいられるのだとあらためて思いました。この節目の時に私自身、地域リハビリ生活支援部の統括部長を引継がせていただきましたが、一步一步ですが地域に貢献できるサービスとしてスタッフと共にがんばりたいと思います。

居宅介護支援事業所

矢野居宅介護支援事業所 管理者 森越 祥江

矢野医院が開院して40年。当時は介護保険制度はなく、介護サービスを利用したい時は医療と福祉は別々に市役所へ申請し市役所がサービスの種類や提供機関を決めていました。当院では1987年に訪問看護、1995年に通所リハビリの前身となる老人デイケアを開始しています。介護保険制度は社会全体で介護を支え介護が必要な方がサービスを利用しながら自立した生活が送れるよう支援することを目的に2000年に開始しました。当時の矢野医院も看護師や理学療法士、作業療法士などの専門職が介護支援専門員の資格を取得し介護サービスの調整やケアプランの作成等をおこなっていました。介護保険制度が始まってから25年が経過し地域の高齢化や独居世帯の増加、認知症の問題など在宅介護を取り巻く状況は変わってきています。当事業所は2018年に開所し現在は介護支援専門員二人で対応しています。介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、また大切な家族が要介護状態になっても住み慣れた家で一緒に生活ができるよう在宅介護を支え、地域の皆様に頼りにされる事業所を目指していききたいと思います。これからもどうぞよろしくお願い致します。

医療法人社団 博至会

●矢野医院

〒934-0011 射水市本町 1 丁目13-1

office@hakushikai.jp

FAX 0766-82-5110

●矢野医院

TEL 0766-82-5150

●デイサービス癒さあ

TEL 0766-73-8155 FAX 0766-53-5690

●矢野居宅介護支援事業所

TEL 0766-53-5693 FAX 0766-53-5735

●矢野神経内科訪問リハビリテーション

TEL 0766-73-7703 FAX 0766-53-5690

休憩室&スポーツ室ご案内

待ち時間やご家族様の休憩の場
憩いの場としてご利用ください。

快適室温環境

安心してご利用ください。

運動器具設置



ご自由にお使いください♪

矢野医院のホームページ

<https://hakushikai.jp/>



●診療案内

担当医	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
午前	矢野 博一	○	○	○	○	○
	矢野 博明	○	○	○	○	○
午後	矢野 博一	○	○	休診	○	○
	矢野 博明	訪問 診療	訪問 診療	訪問 診療	休診	訪問 診療

●[矢野博一医師]主に一般内科を担当

●[矢野博明医師]主に脳疾患を担当

●受付開始時間8:05～

●診療時間 8:40～12:00
14:30～18:00

●休診日 日曜・祝祭日・木曜午後

●胃内視鏡(胃カメラ) 原則予約制

●補聴器の相談日

第2・4火曜日 午後2時～3時